

演習で学ぶ、暗黙知を形式知にする方法

～ 暗黙知の効果的な継承をどう進めるか～

日 時：2017年08月31日(木)10:30～16:30

会 場：江東区文化センター 3F 第2研修室(東京・江東区)

受講料：1名につき49,980円(税込、昼食・資料付)

会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**47,250円**

・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,980円)**

大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

講師：(株)技術・技能教育研究所 代表取締役 博士(工学) 森 和夫 氏

暗黙知は企業活動にとって財産とも言うべき固有技術・技能を含んでいます。研究開発部門では際だって重要な内容が含まれています。従って、この継承のための作業をアウトソーシングすることは得策ではなく、自社内で継承、発展させることが求められます。まず必要なことは「暗黙知の形式知化の推進」です。形式知に変換できれば、学習や改善に役立ち、標準化すれば生産性の向上につながります。このようにして、企業の未来戦略としての暗黙知管理が可能となります。

このセミナーでは、暗黙知の存在から、形式知化の方法論までを学習します。セミナーは演習を中心に行いますので、自ら考え、体験しながら認識を深めると同時に実践力を養うことができます。

1. Introduction

1-1.なぜ暗黙知継承が大切か

1-2.暗黙知管理のシステム化を考える

2. 暗黙知とは何か

2-1.暗黙知があると何が起るか

2-2.暗黙知の定義

2-3.暗黙知の4つの種類

2-4.暗黙知の4つの階層

2-5.暗黙知はなぜ生まれるか、どう扱えばよいか

2-6.暗黙知継承に必要なことは何か

3. 暗黙知を形式知に変換する方法

3-1.暗黙知を形式知に変換する方法論

3-2.暗黙知を含む行動をドキュメント化する(演習)

3-3.作業手順書から教育用手順書への転換

3-4.教育用手順書から技能分析表への転換

3-5.暗黙知をインタビューで引き出す方法論

3-6.暗黙知インタビューの実践演習(演習)

3-7.暗黙知形式知化の実例

4. 形式知に変換できない暗黙知の扱い方

4-1.ベテランの行動特性を探る

4-2.表現できないということの意味

4-3.行動を表現することの限界

4-4.考え方、思考パターンの明瞭化による解決の仕方(演習)

4-5.感覚、感性の基準獲得による解決の仕方(演習)

4-6.成功確率を向上させる解決方の仕方(演習)

5. まとめ～暗黙知の継承をどう進めるか～

5-1.継承の仕組み、組織の構築

5-2.継承方法の確立に向けて

5-3.全体討議、質疑応答

【質疑応答・名刺交換】

『暗黙知』セミナー申込書

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料)	案内方法を選択してください。複数選択可。		Eメール 郵送

セミナーの受講申込みについて
必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。
セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
<https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
<https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>